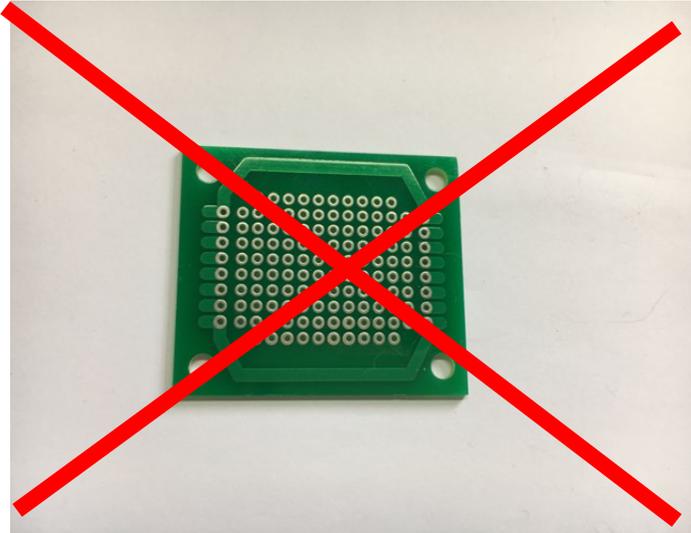


○ 蛇の目基板について

市販品ではありません。昔こちらで作成しました。

今回必要無いです。



中川個人は、ブレッドボード上で回路検証・ソフトチェックしてます。よって不必要です。このメイン基板は、いろいろな追加 IO 基板を採用してきてますので大きさは定まらないです。

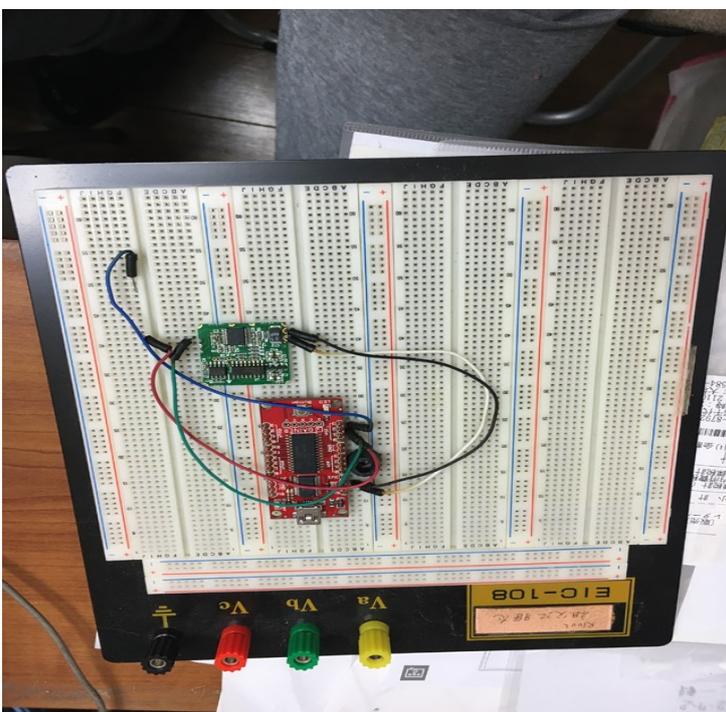
昔はセット基板で、箱入り販売してました。PICマイコンキットです。かなりの数を販売してます。その時、蛇の目基板もいっしょに販売してました。

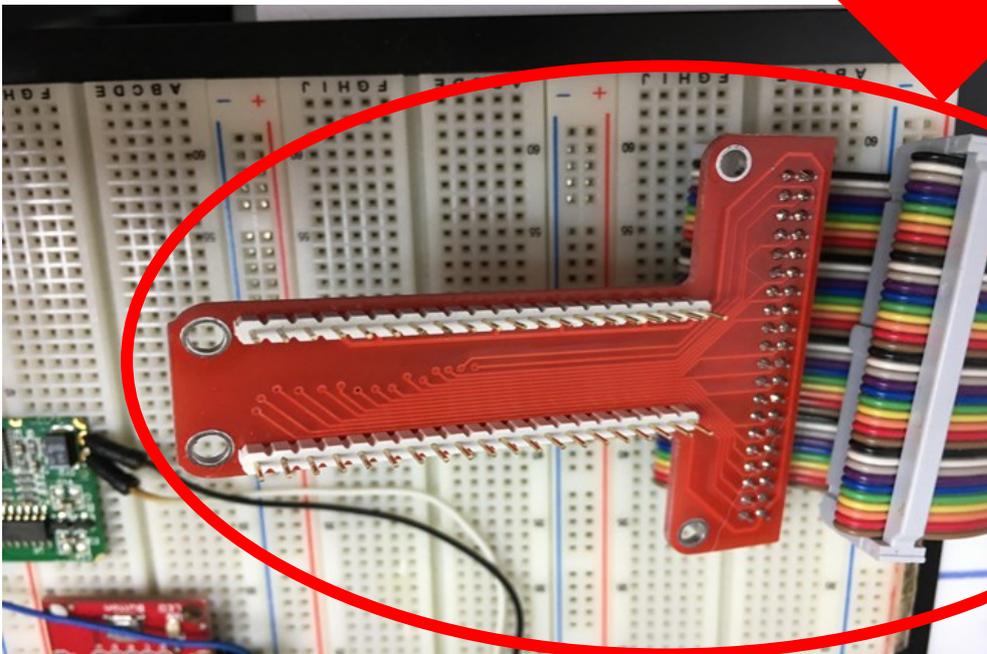
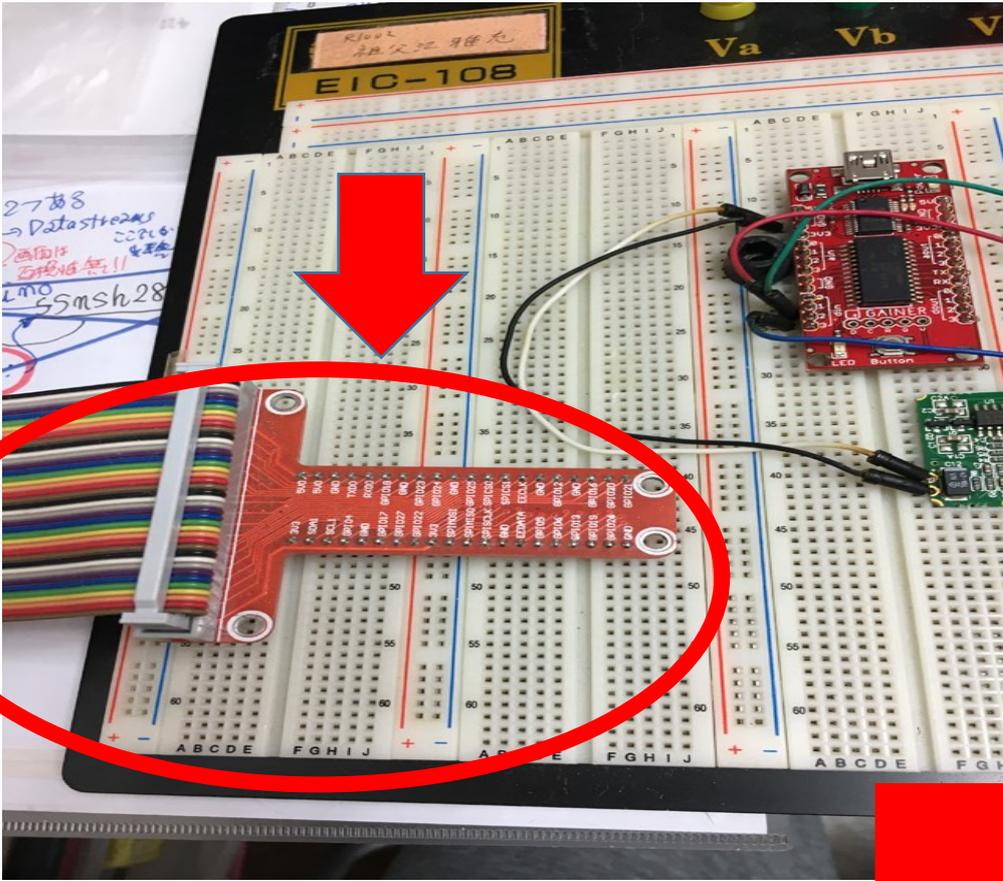
今回は箱無しのバラキットで、しかも大きさがまちまちです。従って、蛇の目基板いらなないです。

昔、販売していたセット基板です。今回は箱無し バラ売りになります。



私が標準 I/O 基板を使うとすれば、メイン基板から引き出された信号から評価ブレッドボードへの部品組み込み・動作検証になります。





メイン基板からケーブルまたはコネクターで信号引き出しになります。蛇の目のような小さ

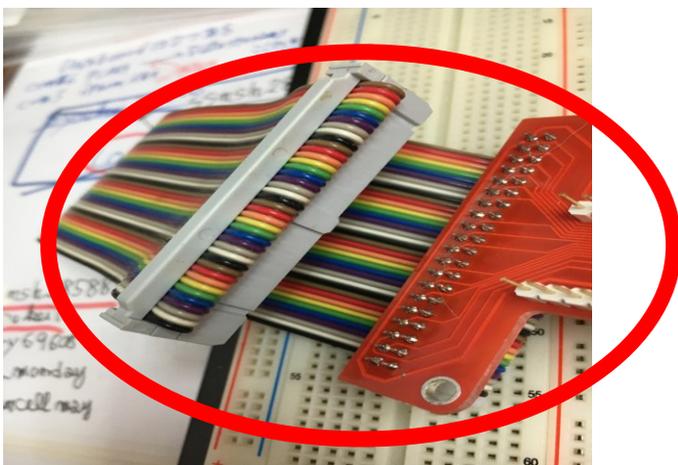
い基板は最終量販体制での検証拡張基板になります。

拡張基板も同じ考えです。メイン基板からおおきなブレッドボードに信号を引き出します。

この例は、こんな引き出し方もあるというケースです。信号引き出し方法は

- ・フラットケーブルで引き出す
- ・コネクタの雄雌で引き出す

など様々あります。どんな方法でも良いです。信号がメイン基板から評価ブレッドボードに引き出されれば良いです。



拡張ケーブル

